

平成25年度

第1回 大垣市緑化審議会会議録

(平成25年7月19日)

## 平成 25 年度 第 1 回 大垣市緑化審議会会議録

平成 25 年度第 1 回大垣市緑化審議会を、平成 25 年 7 月 19 日（金）大垣市役所東庁舎 3 階会議室において開催した。

その次第は、次のとおりである。

- 議 事
- 1 会長、副会長の選任について
  - 2 報告事項  
平成 24 年度大垣市みどりの行動計画実績及び評価報告について
  - 3 審議事項  
平成 25 年度大垣市みどりの行動計画（案）について

本日の委員の出欠席は、次のとおりである。

### 出席委員

森 誠一 委員、國枝 義見 委員、柳澤 直 委員、内木 一久 委員、  
窪田 一仁 委員、成瀬 重雄 委員、西脇 史雄 委員、國枝 重一 委員、  
西脇 三喜男 委員、社本 高司 委員、久野 典章 委員

### 欠席委員

日比 文夫 委員

本日の会議出席者は、次のとおりである。

市 長 小川 敏

都市計画部長 安田 浩二

都市施設課長 高橋 時雄

都市施設課長主幹 長谷川 武

都市施設課主幹 辻 紳一

本日の書記は次のとおりである。

都市施設課主任 村田 康明

(開会時刻 午後 15 時 00 分)

事務局  
(都市施設課長)

定刻になりましたので、ただいまから、平成 25 年度第 1 回大垣市緑化審議会を開催させていただきたいと思っております。本日、会長が不在でございますので、進行は、都市施設課長の高橋時雄でございますが、務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、日比文夫委員がご都合によりご欠席でございますが、委員さんの 2 分の 1 以上のご出席をいただいておりますので、規定によりまして会議が成立いたしておりますことをご報告申し上げます。

本年度は、当審議会委員の改選期にあたりますので、13 名の皆様で組織させていただいております。皆様へは本来でしたら、市長より一人一人に依嘱状をお渡しさせていただくのが、本意ではございますが、時間の都合によりまして、お手元に委嘱状をお配りさせていただいていることで、お渡ししたことにはさせていただければと存じます。任期は平成 27 年 6 月 30 日まででございます。2 年間ですが、今後、何かとお世話になりますが、よろしく願い申し上げます。

委員の皆さまのご紹介につきましては、お手元にお配りしてございます名簿、座席表等を持ちまして、ご紹介に代えさせていただきますので、ご了承いただければと存じます。それでは、市長の方からご挨拶を申し上げます。

市長

どうも皆さんこんにちは。

本日は、たいへん暑い中、また、お忙しい中、平成 25 年度第 1 回大垣市緑化審議会ということで、ご出席いただきまして、ありがとうございます。また、皆様方には、委員の職をお引き受けいただけるということで、たいへんありがたく思っております。これから 2 年間いろいろとお世話になりますが、よろしく願い申し上げます。

大垣市におきましては、平成 16 年に「大垣市緑を育み生かす条例」を制定させていただいて、市民の皆さんと行政が連携して緑のまちづくりを進める「心やすらぐ緑の都市」宣言をし、緑化政策を進めているところでございます。

「大垣市みどりの基本計画」は、平成 12 年に策定し、平成 21 年に全面改定をさせていただきましたが、昨年度、一部見直しさせていただき、世界的な地球温暖化の到来、東日本大震災を契機とした防災対策、急速な少子高齢化社会の到来など社会情勢の変化への対応を図っております。

また、みどりの基本計画を効果的に推進するため、毎年、皆様方に「みどりの行動計画」を策定していただき、「水と緑をつくる」施策を推進していきたいと考えております。

とりわけ、これらの施策は、第 5 次総合計画後期基本計画の重点プロジェクトの中で、「安全・安心」、「子育て日本一」に位置付け、災害時に避難所となる公園緑地の整備、公共・民間施設の屋上や壁面の緑化、輪中堤等での桜やアジサイの植樹など、様々な視点から各種事業に取り組んでおります。

本日は、委員改選後、初めての審議会ということで、会長、副会長の選任をお願いするとともに、平成 24 年度の「みどりの行動計画」の実績及び評価報告並びに、平

成 25 年度の「みどりの行動計画 (案)」についてご審議をいただくことになっております。

委員の皆様方には、豊富な知識と経験を活かしていただき、自由闊達な前向きなご意見をいただきますよう、お願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

事務局  
(都市施設課長)

それでは、本年度第 1 回目の審議会でございますので、お手元の資料 1 の「会長、副会長の選任について」を皆様にお願ひしたいと存じますが、いかが取り計らえばよろしいでしょうか、ご意見のある委員さんがお見えになりましたらお願いいたします。

西脇委員

会長に森 誠一さん、副会長に連合自治会長の國枝委員さんを推薦します。

事務局  
(都市施設課長)

西脇委員から、「会長に森委員さん、副会長に連合自治会連絡協議会長の國枝委員さん」という旨のご推薦がございましたが、他にご意見等ございませんか。

(異議なし)

事務局  
(都市施設課長)

それでは会長に森委員さん、副会長に連合自治会連絡協議会長の國枝委員さんで決定させていただきたいと存じます。

恐れ入りますが、会長席、副会長席に、お移りいただきたいと存じます。

(席移動)

事務局  
(都市施設課長)

それでは、早速で恐縮でございますが、新しく会長に選任されました森会長さんから、ご挨拶を賜りたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

森 会長

皆様からご推薦をいただき、会長を務めさせていただきます森誠一と申します。誠に名誉なことであり、謹んでお受けしましたが、責任の重さに身の引き締まる思いしております。

一言ご挨拶を申し上げます。

21 世紀は環境の世紀といわれており、急速に悪化している地球環境を改善するために、緑化に期待される役割はきわめて大きいと考えております。

特に近年、都市の緑化、乾燥地緑化、生態系保全緑化など新たな課題が山積しております。その中で、「みどり」は、私たちの生活環境、グローバルな地球環境を保つ上で、他の方法では代替できない多岐にわたる役割を与えてくれます。

過去 2 世紀の間、人の叡智は、植物が貯めこんできた化石資源を利用するために注がれてきましたが、これが「みどり」の環境、地球の環境を痛めてきたことは否

めません。今後「みどり」の機能が低下しないようにするため、この「みどり」を育むことに叡智を注ぎ、育むことが求められています。

大垣市は、水の豊かな町として栄え、周辺には山林や河川、身近には田園風景が広がっております。大垣市全体の緑化を考える中で、「低炭素」「循環型」「自然共生」に、いかに貢献しているかを検討し、地域全体の緑の質を高め、安全・安心とともに豊かな文化の創造に邁進していきたいと思っております。

委員の皆様には、それぞれのお立場から、自由闊達なご意見をお聞かせいただきませうようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

よろしく願いをいたします。

事務局

(都市施設課長)

ありがとうございました。

これよりの議事は、大垣市緑化審議会規定第4条第1項により、会長が審議会の議長となりますが、その前に市長が公務の都合により、退席をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

森会長

それでは、議事を進行させていただきます。

本日は、報告事項と審議事項の2項目がございます。

まず始めに、本日の議事録署名者でございますが、

窪田 一仁(くぼた かずひと) 委員さん

西脇 三喜男(にしさき みきお) 委員さんのお二人をお願いいたします。

本日は、傍聴希望者はございません。

続きまして、報告事項「平成24年度みどりの行動計画実績及び評価報告について」事務局より説明をお願いいたします。

事務局

(都市施設課主幹)

それでは、「平成24年度みどりの行動計画実績及び評価報告について」ご説明させていただきます。資料2をご覧ください。

実績報告をさせていただく前に、「みどりの基本計画」の施策の体系について、若干の説明をさせていただきます。

資料2の2枚目の裏面に「大垣市みどりの基本計画」における、「水とみどり」の将来像と施策展開の目標をあげさせていただいております。

『「水とみどり」がいぶくまち』をキャッチフレーズに、基本方針として、

- ・豊かな「みどり」が実感できる快適・安全な市街地環境を形成
- ・「水とみどり」の拠点の整備充実を図り、様々な市民活動の場としての活用を推進
- ・里地里山の広大な「みどり」の保全と活用を推進

これらの方針に基づき、施策展開の目標として、4つの大きな柱がございます。

1つ目に「水とみどり」を守る。

2つ目に「水とみどり」をつくる。

3つ目に「水とみどり」を活かす。

4つ目に「水とみどり」を学び、広める でございます。

これら4つの目標にそれぞれ具体的な指標を定め、その実績を評価したものが次の1ページからの資料になります。

それでは、1ページをご覧ください。施策の展開の目標一つ目である『「水とみどり」を守る』の施策でございます。①の表が、その指標になります。

1番目の保存樹木の指定本数ですが、平成24年度計画3,150本に対し、実績は2,169本となり、評価は△とさせていただきます。

なお、評価の○、△、×は、計画値に対する、達成率を表しておりまして、評価方法につきましては、平成24年度の計画値に対する実績値の割合で、○は100%以上、△は50%以上達成、×は50%以下としております。

次に、本市の自然環境に対する満足度ですが、これは、行政改革推進室が実施しております市民アンケートの5段階評価のうち、満足の5とやや満足4を合わせた割合でございますが、昨年度の12.5%から11.4%と下がりました。

次のISO14000シリーズ認証取得等事業所数ですが、前年度52事業所から変わっておりません。

次に、公園緑地の充実・維持管理に対する満足度ですが、これも市民アンケートによるものですが、昨年度の22.2%から24.8%に上がっております。

次のハリヨ・ホテルの生息箇所数ですが、昨年度の22箇所から変わっておりません。

続きまして、行動計画の実績について、主なものを説明します。

③「水とみどり」を守る 個別行動計画 平成24年度実績一覧表の、個別目標1-1「森林地域の保全」の実績といたしまして、右に実績を載せておりますが、企業の森活動による植樹及び保全活動として、太平洋工業、西濃運輸グループの皆様とそれぞれ植樹活動を行いました。

個別目標1-2「樹木樹林の保全」では、緑保全地区と保存樹木を引き続き指定し、補助金を助成しておりますが、昨年度は5年に1度の協定更新の年でありまして、相続や世代交代により、協定を結んだ保存樹木の本数は、残念ながら2,169本と減少しました。

個別目標1-3「水辺環境と地下水の保全」では、河川の整備におきまして、市では曾根川、江西川、国では杭瀬川の整備で環境に配慮した工法で整備を行っております。また、市道の歩道整備では透水性舗装を実施しております。

個別目標1-4農地の保全では、上石津におきまして、かがやき農業塾を前年に引き続き開催しまして、26組の方に参加いただきました。野菜などの作付講習会を年8回行い、各自に割り当てられた農地で実際に野菜づくりをしてもらうものです。こうした取り組みによりまして耕作放棄地の解消につながっていくことを期待するものでございます。

2ページをご覧ください。施策展開の目標の二つ目である『「水とみどり」をつ

くる』の施策でございます。①の表がその指標になります。

一番目の市民一人当たりの都市公園面積につきましては、3箇所の公園を整備しましたが、計画6.0㎡に対し5.9㎡とわずかに及びませんでした。市内の公園は、機能更新の時期を迎えている所が多く、24年度の新設公園は、下の③の表の個別目標2-1「公園緑地の設置機能更新」の24年度実績にあります。勝山公園、外渕南公園、和合新町公園を整備しました。また、10箇所の公園において、遊具の機能更新を行いました。今後も、新設と更新のバランスを考慮しながら、整備を進めてまいります。

個別目標2-2「水とみどり」のネットワーク形成をご覧ください。「河川、水路、輪中堤、道路などを「みどり」でつなぐ」の施策では24年度実績として、大島堤で40本・笠縫堤で10本・杭瀬川堤で265本のサクラの植樹及び補植を行い、合計で0.8kmの増となっております。

3ページをご覧ください。引き続き『「水とみどり」をつくる』の施策でございます。

③の行動計画一覧表の、個別目標2-3「公共施設の緑化」をご覧ください。24年度実績として、水門川の橋上緑化を2箇所、墨俣の犀川堤にアジサイの植樹、四季の路の植栽整備を行いました。

個別目標2-4「民間施設の緑化」をご覧ください。24年度実績として、生垣設置補助金制度の見直し、花かざり補助金の検討を行いました。

生け垣設置補助金制度では、これまでの既存の制度に加え、ブロック塀を取り壊して生け垣を整備する際の取り壊し費用も補助対象とし、防災面に寄与するとともに、より使いやすいものとさせていただきました。

また、花かざり補助金は道路沿いの民有地を花で飾っていただくための助成制度で、道行く人に潤いを与えることを目的にしています。今年度から運用を開始しております。

4ページをご覧ください。施策展開の目標の三つ目である『「水とみどり」を活かす』の施策でございます。①の表がその指標になります。

一番目の農業体験・里地里山体験学習参加者数・自然体験参加者数ですが、1,137人の参加があり、累積2,852人となり、計画を上回りました。

また、次の森林再生事業による間伐面積につきましても、計画を上回っております。

続きまして、③の表 個別行動計画の実績について、主なものを説明します。

個別目標3-1「里地里山活動の場としての活用」をご覧ください。24年度実績として、緑の村での体験講座にのべ245人、農林課主催の農業体験、里山大学、林業体験に、のべ350人、環境市民会議主催の親子体験講座にのべ502人の参加がございました。

個別目標3-2「「みどり」の資源活用」をご覧ください。間伐材の活用におきましては、23年度からはじまりました木の駅プロジェクトが引き続き行われ、間伐



材を 187 m<sup>3</sup>出荷することができました。

5 ページをご覧ください。施策展開の目標の四つ目である『「水とみどり」を学び、広める』の施策でございます。①の表がその指標になります

上から 2 番目の、「みどり」の情報を提供するHP（大垣市都市施設課）への年間アクセス数ですが、23 年度に実績 12,981 件と大幅な伸びをいたしました。24 年度も引き続き 70,065 件と大きく伸びました。アクセス先は大垣公園が最も多く、続いて曾根城公園となっております。今後も引き続き「みどり」に関する情報を発信してまいりたいと思います。

一番下の緑化活動に対する褒章事例数ですが、24 年度に 1 件増えておりますが、これはイビデン株式会社様が緑化優良工場等経済産業大臣賞を受賞されたものでございます。

続きまして、③の表 個別行動計画の実績について、主なものを説明いたします。

個別目標 4-1「情報の収集・発信」をご覧ください。24 年度実績として、「みどり」の啓発を目的とした四季の里まつり、四季の里ウォーキングを開催するとともに、四季の花情報などをメール配信し、積極的な情報発信を行いました。また、環境衛生課において、緑のカーテンを啓発することを目的としたグリーンカーテンコンテストを開催し、応募が 39 件ございました。

個別目標 4-2「市民協働による緑化活動の促進」をご覧ください。24 年度実績として、大垣公園でプレーパークを常時実施したほか、さくら公園などで出張プレーパークを実施し、子育て世代向けに、楽しいプログラムを提供いたしました。

また、22 年度から導入しました、四季の回廊への記念植樹ですが、誕生記念樹申込数 981 本のうち、265 本、約 30%の方が申し込まれました。

子供の成長とともに、樹木の成長を見守って頂くことで、緑化への意識向上が期待されます。6 ページをご覧ください。引き続き『「水とみどり」を学び広める』の施策でございます。

個別目標 4-3「教育の場の提供と利用」をご覧ください。24 年度実績として、公園緑地を活用した環境学習を 6 講座、実施しました。具体的に申しますと、西公園、大谷川、江東小学校においてホタルの放流時における学習会 4 回、里山大学 2 回でございます。

個別目標 4-4「行動のための仕組みづくり」におきましては、緑化基金の創設へ向けた検討を行っております。これは、「みどり」の保全・推進のための財源として、市民や事業者様からの募金や寄附金などを充てられるような仕組みづくりを模索するもので、今後も引き続き検討してまいりたいと思います。

以上が、平成 24 年度みどりの行動計画実績及び評価報告となります。

ありがとうございます。

ただいま、事務局の方から『1. 「水とみどり」を守る。「水とみどり」をつくる。「水とみどり」を活かす。「水とみどり」を学び広める』といった将来像に対する実

森会長

績並びに評価報告について説明がございましたが、何かご意見、ご質問がございましたら、ご発言願います。

柳澤委員

「1. 「水とみどり」を守る 個別目標 1-1 森林地域の保全の中に「どんぐりの森を青墓で開催」とありますが、活動内容について、ご説明をいただきたい。

窪田委員

私が所属する団体が実施しています。平成 13 年からどんぐりの森づくりの一環としてイベントを開催し、青墓地区や上石津地区で開催をしています。当初は、どんぐりの森づくりということで植樹を実施していましたが、植樹する場所の確保が困難となっています。現在では、自然観察やどんぐりを使った工作教室などを中心に実施しています。

國枝（重）委員

初めて参加させていただきましたが、たいへん様々なテーマについて、実施して頂いていると感じます。しかし、本市の自然環境に対する満足度について 11.4%は低いのではないかと感じます。アンケートを実施する中で、市民のご意見や要望などがあればお聞きしたい。また、最終ページの「水と緑を学び、広める」の指標の中で、ホームページへの年間アクセス数 約 70,000 件 と本市の観光客数 252 万人は、高い数値と感じますので、カウントする定義を明確にしなければならないと思います。

事務局

（都市施設課主幹）

自然環境に対する満足度については、先ほどもご説明させていただきましたが、行政改革推進室が実施しております市民アンケートの 5 段階評価のうち、満足の 5 とやや満足 4 を合わせた割合でございます。

ホームページへのアクセス数は、都市施設課ホームページへのアクセス数をカウントしているもので、提供しているホームページの 1 ページ毎にカウントしたものを集計した件数となります。

内木委員

何年か前に、環境審議会に出席したことがあります。その中で環境基本計画というものを審議したのですが、環境基本計画とみどりの基本計画との関連性はあるのですか。

事務局

（都市施設課主幹）

環境基本計画とみどりの基本計画は互いにリンクしており、それぞれの役割をそれぞれの基本計画で実施しています。環境基本計画は、環境全般の計画ですが、みどりの基本計画は緑に特化した計画となっております。

森会長

公園緑地を活用した環境学習について説明の中で里山大学を 2 回実施したとありますが、どういった内容ですか。

事務局

農林課の主催によりマツタケの再生などの講習会を実施しており、森林文化アカデ

(都市施設課主幹)	ミーから講師に来ていただいています。
窪田委員	行動計画の4つの目標全てに「水とみどり」が入っているが、「みどり」の計画の中に「水」を入れた意図をお聞きしたい。
事務局 (都市施設課主幹)	大垣市は「水の都」といわれておりますので、「水」を含めた「みどり」として、平成12年の緑の基本計画策定から基本構想の中に取り入れています。
森会長	平成24年度の評価として、①の施策の指標実績と③の行動計画実績は、連動しておりますか。 また、指標や計画がたくさんある中で、すべてを詳細に説明するのは無理だと思いますが、先ほど、ご説明いただいた部分が、重要なものだと考えてよろしいですか。
事務局 (都市施設課主幹)	①の施策の指標実績は目標値に対する達成度、③の行動計画実績は個別の施策に対する評価としておりますので、関連性はありますが、必ずしも評価が連動しているとは限りません。 また、ご説明させていただいた部分や資料の中で太字になっている部分が、重要な指標や施策でございます。
社本委員	『2.「水とみどり」をつくる』の中で、道路の緑容率と道路の緑化延長についてもう少し詳しくご説明ください。
事務局 (都市施設課主幹)	道路の緑容率については、冊子「みどりの基本計画 改訂版」の33ページをご覧ください。図で示させていただいているとおり、道路の容積に対する樹林容積の割合で、大垣市独自の指標でありまして、街路樹などの緑のボリュームを表すものです。 道路の緑化延長でございますが、街路樹の総延長でございます。
森会長	先ほど、國枝委員が言われました自然環境に対する満足の11.4%は、確かに低いと感じます。もっと満足度を上げていかななくてはいけない。
事務局 (都市計画部長)	都市計画部長の安田でございます。 ご質問にありました行革のアンケートは、大垣市の満足度調査ということで、市民に対し無作為で3,000名程で実施していますので、アンケートの対象者に旧大垣市の方の割合が多いと考えられます。大半の大垣市民は平地に住んでみえられるため、聞かれると自然は少ないという感覚が反映されているのではないかと考えられます。アンケートの内容については、後ほどお調べして報告させていただきますが、この満足度の指標の設定が良いのかどうか我々も検討していかななくてはならないと思います。

柳澤委員

満足度の件ですが、年間の話になるかもしれませんが、緑に関するアンケートを実施されてはどうでしょうか。例えば9月頃にアンケートを実施し、設問次第では地域の緑に関する情報を得ることができるのではないかと思います。

森会長

場所によって、緑に関する意識が違ってきますし、課題も変わってきますので、たいへん良い意見だと思います。今後の検討をお願いします。

それでは、時間の都合もございますので、報告事項「平成24年度大垣市みどりの行動計画実績及び評価報告について」を終わらせていただき、審議事項第1号「平成25年度大垣市みどりの行動計画（案）」についてを議題といたしたいと存じます。事務局から説明をお願いいたします。

事務局

(都市施設課主幹)

それでは、資料3をご覧ください。

第1号議案 平成25年度みどりの行動計画（案）について、ご説明させていただきます。

昨年度に「大垣市みどりの基本計画」を改訂いたしまして、目標指標などの見直しをさせていただいたわけですが、基本方針と施策展開の目標『「水とみどり」を守る・つくる・活かす・学び、広める』は改訂前から引き継いでおりますので、この4つの目標に対し行動計画をあげさせていただきました。

1ページをご覧ください。『「水とみどり」を守る』の施策でございます。

①の表の指標でございますが、平成29年度の目標値を達成するために今後5年間の計画目標値を設定させていただきました。この目標値を目指し、「みどり」に対する行動を行ってまいります。

続きまして、②の表の個別目標実現の為の行動計画ですが、主だった事項を説明いたします。

個別目標1-1「水辺環境と地下水の保全」の25年度具体策としまして、環境配慮型の河川整備の実施、河川環境調査の実施、透水性舗装を実施してまいります。

個別目標1-2「樹林樹木の保全」では、緑保全地区・保存樹木数を維持向上してまいります。

個別目標1-3「農地の保全」では、農業振興地域農用地区域を維持していくとともに、かがやき農業塾や市民菜園などにより、農地を活用してまいります。

個別目標1-4「森林地域の保全」では、荒廃した森林を守るため、間伐を実施するとともに、企業の森活動などを通じて広葉樹林の整備を進めてまいります。

2ページをご覧ください。『「水とみどり」をつくる』の施策でございます。

①の表の指標の目標値は先ほどと同様、29年度の目標値を達成するための今後の5年間の計画目標値を設定させていただきました。

②の表の個別行動計画ですが、主だった事項を説明いたします。

個別目標2-1「公園緑地の設置機能更新」の25年度具体策としまして、玉池公園、曾根城公園を整備いたします。

個別目標 2-2 「「水とみどり」のネットワーク」の 25 年度具体策としまして、大垣の特色であります輪中堤等を活かして、桜並木で繋ぐ四季の回廊「千本夢桜」事業の一部として、昨年度に引き続き、大島堤・杭瀬川堤にサクラの植樹を実施いたします。

個別目標 2-3 「公共施設の緑化」では、水門川に架かります橋の緑化や四季の路の植栽整備を進め、また、市内各所にございます、四季の里を充実させてまいります。3 ページをご覧ください。個別目標 2-4 「民間施設の緑化」では、開発に伴います緑化の指導を行うとともに、生垣設置補助制度の啓発や、花かざり補助金の運用を行ってまいります。

4 ページをご覧ください。『「水とみどり」を活かす』の施策でございます。まる②の表の個別行動計画ですが、主だった事項を説明いたします。

個別目標 3-1 「里地里山活動の場としての活用」の 25 年度具体策としまして、緑の村公園や多良峡森林公園を活かし、自然体験など学習の場を設けてまいります。

個別目標 3-2 「みどりの資源活用」では、木の駅プロジェクトを引き続き実施し、間伐材をペレットや薪として有効利用してまいります。

5 ページをご覧ください。『「水とみどり」を学び、広める』の施策でございます。

②の表の個別行動計画ですが、主だった事項といたしまして、

個別目標 4-1 「情報の収集・発信」では、広報やインターネットのみならず、昨年引き続きフリーペーパー等を積極的に活用し、「水とみどり」に関する情報提供に努めてまいります。

個別目標 4-2 「市民協働による緑化活動の促進」の 25 年度具体策といたしまして、25 年度に整備します玉池公園、曾根城公園について、ワークショップを実施することで、計画段階から地域住民に関心をもって頂くことにより、完成後の管理運営も積極的に行われることを期待するものでございます。

6 ページをご覧ください。個別目標 4-3 「教育の場の提供と利用」の 25 年度具体策といたしまして、子育て支援に資するプログラムの実施として、大垣公園におきまして、プレーパークを行うとともに、他の公園にも出張プレーパークを行い、さらなる拡充に努めてまいります。

個別目標 4-4 「行動のための仕組みづくり」では、「みどり」の環境づくりを整えるため、緑化基金の創設に向けて検討をしてまいります。

以上が、平成 25 年度みどりの行動計画（案）となります。

森会長

ありがとうございました。事務局から説明をいただいた平成 25 年度みどりの行動計画（案）について、ご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。

柳澤委員

2-2「水とみどり」のネットワークの所に、ビオトープの新規整備可能箇所の調査・検討とありますが、田んぼをビオトープとして使用し、農薬をあまり使わない様にすれば、より昔の水田に近く、自然に近い状態ができるのではないかと思います。

大垣地域は上石津地域に比べため池が少ないため、ため池を一定間隔で整備することで市街地までの「水とみどり」のネットワークを形成することができるのではないかと思います。ため池とため池を結ぶ水路や堤坊があれば、いろいろな動植物が生息し、生物多様性にも結びつくのではないのでしょうか

事務局

(都市施設課主幹)

貴重なご意見ありがとうございます。「水とみどりのネットワーク」の形成に、ため池を活用ということで、参考にさせていただきます。また、昨年度整備されたビオトープですが上石津地区につくられました。しかし、自然に囲まれた上石津ではなく、大垣地域にもビオトープを整備できるよう検討してまいります。

久野委員

3点ほどお聞きします。

1点目ですが、1ページ目の一番下の所に、自然の家予定地とありますが、どこが予定地になっているのでしょうか。2点目ですが、4ページの間伐材の活用ということで、間伐材を建築・土木資材と書いてあります。間伐材の使用ということは前から言われてきており、私も建築業に携わっており関心はあるのですが、現時点では間伐材を使うことは難しく、外材を使うことは単価的なことも含めメリットが大きいと感じます。大垣市には上石津に森林地域があるため、上石津地域で間伐材を使った製品を生産し供給できるようなルートが整備されれば、積極的な利用があるのではないかと思います。3点目は6ページに学校農園の活用とあり、学校や保育園で野菜などを作るということだと思いましたが、これは、学校の設置条件により、良い農園があるとは限らない状況です。私の子どもの学校では、学校の敷地外に農園があり、授業で行くのに遠く、管理は学校の先生が自転車で行くという状況でした。しかし、学校にはPTAがありますので、PTAが学校農園の管理を行い、教育に活用をする形を作れば、今後、学校農園が増えて行くのではないかと思います。

事務局

(都市施設課主幹)

1点目の自然の家予定地は、青墓地区でございます。

2点目の間伐材の利用についてですが、都市施設課としましては東屋やベンチなどに活用していますが建築資材までは、活用している状況にはありません。

3点目の農園については、今後の参考にさせていただき、PTAなどの協力も視野に検討させていただきます。

事務局

(都市施設課長)

ただいま久野委員様からの非常に前向きで見通しのいいご意見をいただいたと理解しております。学校関係、特にPTAの関係の方に、逆にいろいろ相談にのっていただければ、学校農園もより活かす方向にもなると思います。そういった時にはまたご協力をお願いいたします。

窪田委員	<p>森林環境税についてですが、県から様々な補助のメニューがあるかと思いますが、どういったものがあるのか市民にとって分かりにくいのですが。</p>
<p>事務局 (都市施設課主幹)</p>	<p>市においては森林環境税を基にした様々な補助事業を行っております。先ほどご説明しました木の駅プロジェクトにおきましても活用しております。</p> <p>また、市民に分かりにくいとのご指摘につきましては主管課である農林課にお伝えいたします。</p>
國枝(重)委員	<p>柳澤委員が言われたご意見に類似しますが、私の住んでいる場所は、50年くらい前は田んぼと池だけで、田と、水路と、堀が連携するような環境は良いと思います。現在、市内で池が残っているものとしては、広芝の池や大外羽の池、江東小学校の北側にある池、イオンの南に1つありますが、その中で大外羽の池は企業の池だと思うのですが数少ない池ですので、事業化していただけるとありがたいのですが。</p> <p>もう一点ネットワークを強調してテーマとして書いてもらっているのですが、小動物の移動路など細かなポイントを整備していけば良い効果がでると思います。</p>
<p>事務局 (都市計画部長)</p>	<p>大外羽の池につきましては、河合石灰さんが埋め立てを前提として管理されていると思いますので市として整備することは難しいかと思います。ご理解をいただけたらと思います。</p>
<p>事務局 (都市施設課長)</p>	<p>ため池に関連しまして、今年度から荒尾の玉池公園で水質の浄化を目的とした整備を行うことを考えております。</p>
柳澤委員	<p>緑の村公園の正面にあります里山学習林ですが毎年間伐をして整備されていますが、なかなか活用されていないようです。フィールドミュージアムなど全国的にあまりありませんので、緑の村公園では小学校の教育活動ではぜひ活用してもらおうと良いと思います。</p> <p>また、金生山の化石館のすぐ近くの明生輪寺に石灰岩層があるのですが、カルストの素晴らしい自然が市街地に隣接していますので、ぜひ活用して欲しいです。</p>
<p>事務局 (都市施設課主幹)</p>	<p>里山学習林につきましては、安全面を考慮しつつ検討してまいりたいと思います。また、金生山の明生輪寺付近ですが、都市公園の岩巢公園として開園いたしておりますので、市としても引き続きPRし、活用してまいります。</p>
久野委員	<p>2点お聞きします。</p> <p>自宅に入学記念樹でもらったキンモクセイがあるのですが、大きくなって面倒が大変で切ってしまったなどということをお聞きします。制度としてはいいものであると思</p>

ますが、木の種類も選択もできますよね？こういったことは大事なのですが今後も継続されるのでしょうか？

もう1つは最近いわゆる「ゲリラ豪雨」と言われる中で、雨水が都市部で浸み込むことが少ないということで、透水性舗装の活動とかがあるのですが、公園や歩道など限定されているように感じますし、経年すると透水性としての機能が損なわれ、メンテナンスが普通の歩道よりも難しいと聞いておりますので、その辺どうようにお考えでしょうか？

事務局  
(都市施設課長)

入学記念樹につきましては、新入生を対象に引き続き進めてまいりたいと考えております。

排水性舗装の維持管理につきましては、泥などで目詰まりすることがあり、維持管理で非常に難しい面があります。その対応については、舗装改修かと思えます。

社本委員

排水性舗装は雨水を水路に流すもので、透水性舗装は土に浸透させるものですが、歩行者の面を考えると目も細くなり泥などで目詰まりするということは必至であり、当初設計の機能通りにはいかなくなると思えます。

事務局  
(都市施設課長)

県の方でも排水性舗装を施工しておりますが、維持管理は難しいと聞いております。

久野委員

入学記念樹の種類は何種類ありますか。

事務局  
(都市施設課主幹)

9種類ございます。

窪田委員

青墓の野外活動センターについてですが、利用者の方から駐車場とトイレを整備してほしいと意見があります。

事務局  
(都市施設課主幹)

主管課にお伝えします。

柳澤委員

3-2「みどりの資源活用」の中の木質ペレット・マキの累計生産量についてですが、24年度は49.3tで25年度の計画が累計35tとなっておりますが、どういことでしょうか。

事務局  
(都市施設課主幹)

49.3tはこれまでの累計数値です、25年度計画は新しくみどりの基本計画がスタートしましたので、更新して新たに0からスタートし、35tとさせていただきます。わかりにくい表記ですので修正させていただきます。



森会長

小水力発電の検討はどのようになったのでしょうか。

事務局

(都市施設課主幹)

昨年度農林課の方で農業用水の利用など検討を重ねてきましたが、効率的に難しいとの判断がなされたと聞いております。

森会長

本日の会議ではみどりの質ということについてご意見があったと思います。例えば、ただ単純にハリヨの生息地を増やせばいいというものではなく、生息地の質をあげて、生息地間のネットワーク繋いでいくといったことも必要ではないか。また、緑をつくれればいいというわけではなく、多様な緑を整備し、質を考えていかなければならないと思います。

国枝(重)委員

今回の計画とは関係ないのですが、今後、緑が増えていくわけですが、公共施設で剪定など維持管理はどれくらいかかっているのでしょうか。

事務局

(都市施設課主幹)

街路樹、公園などあわせて約6億円弱でございます。

国枝副会長

最近の社会情勢の変化の中で市街化の開発が進んで、農業の維持が難しくなっています。限られた農地で担い手の育成など新しい施策が出来てくると思います。

保全という面では、私の地域では旧家に樹木があり、跡取りの居ない高齢の方が住んでおり、面倒を見られない状態です。地域としてはこうしたすばらしい大木や水屋跡などを水田とともに残していきたいという思いであり、市の方でも文化振興課で補助をもらっておりますが、さらなる救済措置を検討いただけるようお願いいたします。

森会長

水屋や堀田など生活に密着した環境ということで、個別の案件であるかもしれませんが、情報として極めて重要なことだと思います。大垣市の何をどのように守るかの観点に立った時に、そうした重要な環境がいつのまにか無くなってしまうことはあってはならないと思います。地域のここに良い大木があるとか、1つの情報としてしっかりと記録に載せて集約をしていただけると良いと思います。

時間もまいりましたので他にご意見がありますでしょうか？

それでは、本日の審議会に付議されました議案の審議につきましてはすべて終了しました。今日は様々な見識お立場から大垣市のみどりについての意見をいただきました。今後、質という観点から計画を実行していただき、こうしたものが大垣市の発信力に繋がっていくものと思います。それでは事務局にお返しします。

事務局

(都市計画部長)

先ほどから非常にしっかりとのご意見をいただき、ありがとうございます。

今後、26年度予算に向けて参考になる部分もいただきました。

本日、私が気づいた点では維持管理のお話、記念樹等の事業をどう考えるか。増やすことも大切ですが、維持をどう考えるか貴重なご意見をいただいたと思います。経費がどんどん限られていく中で、作れば作るほど時間とお金がかかる。だけどそれは行政だけでなく、民間の力も必要です。民間の皆さんの中には、木を守る方もいれば切ってしまうという方もみえます。公園等の緑も、一つの例でいいますと桜の木を植えてくれるのはいいが毛虫はいらないといった話を伺いますと、今後の行政はどうしていくべきか、審議会の皆様からご意見いただきながら都市施設課として今後に向けて改善していけたらと思います。

先ほど、お渡ししましたパンフレットは、ぜひお持ち帰りいただいて何かの折にご紹介いただけたらと思います。本年度から生垣の整備についての新しい補助制度やご家庭の花かざりをご自分の庭の中ではなく外へと花を咲かせていただきたいとの思いで助成を行っております。

そのための財源等についても基金等の検討をしていきたいと考えております。今後、皆様にご協力いただきながら進めていけたらと思います。

本日は長い時間ご審議いただきましてありがとうございました。(閉会)